



株式会社エクスマーション 会社・事業・製品/サービス紹介

SDx※を生成AIで加速する ソフトウェア開発現場の “技術参謀”

自動車を筆頭に、急増している
組込みソフトウェア（ET※）開発の課題を解決する
新しいスタイルのコンサルティングファームです

※SDx（Software-Defined Everything）

従来ハードウェアによって固定的に制御されていたIT基盤のあらゆる要素を
ソフトウェアによって柔軟に定義・制御・管理する技術アプローチの総称

※Edge Technology

クラウド活用を前提としたシステムにおける、機械製品や装置等
いわゆる「現場＝エッジ」で使われる制御技術やデータ処理技術の総称

社名

株式会社エクスマーション

本社所在地

東京都品川区大崎2-11-1 大崎ウィズタワー23F

設立

2008年9月

上場市場

2018年7月 東証マザーズ（現グロース）上場／証券コード：4394

資本金

453,516千円（2025年8月末現在）

代表

代表取締役社長 渡辺 博之

役員構成

取締役 6 名（うち社外 1 名）
監査等委員である取締役 3 名（うち社外 2 名）

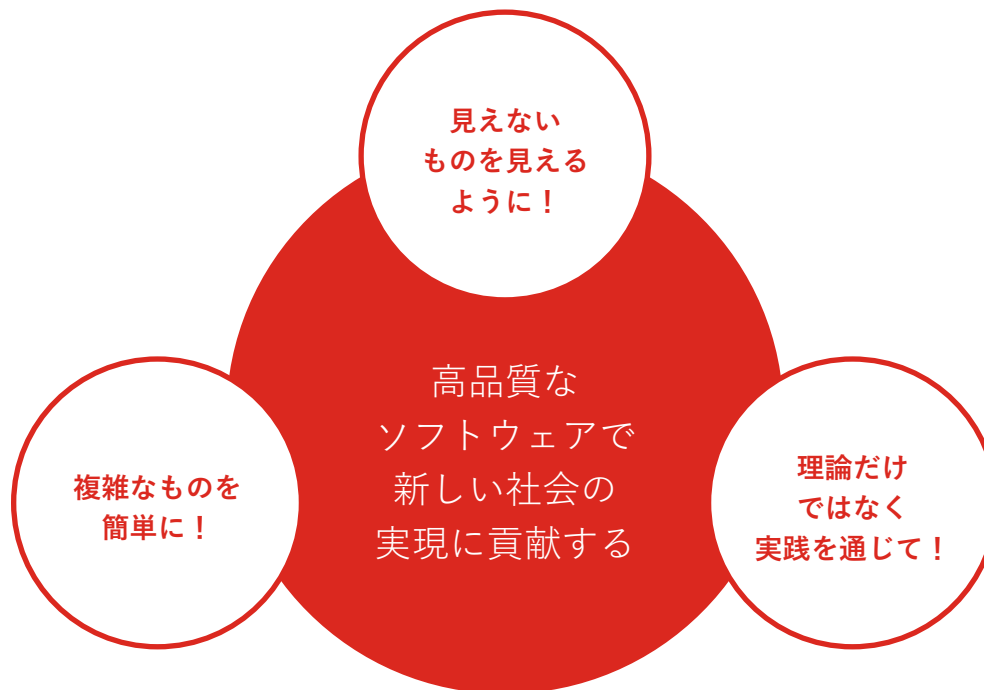
従業員数

社員85名（2025年8月末時点・連結、契約社員含む）

認証

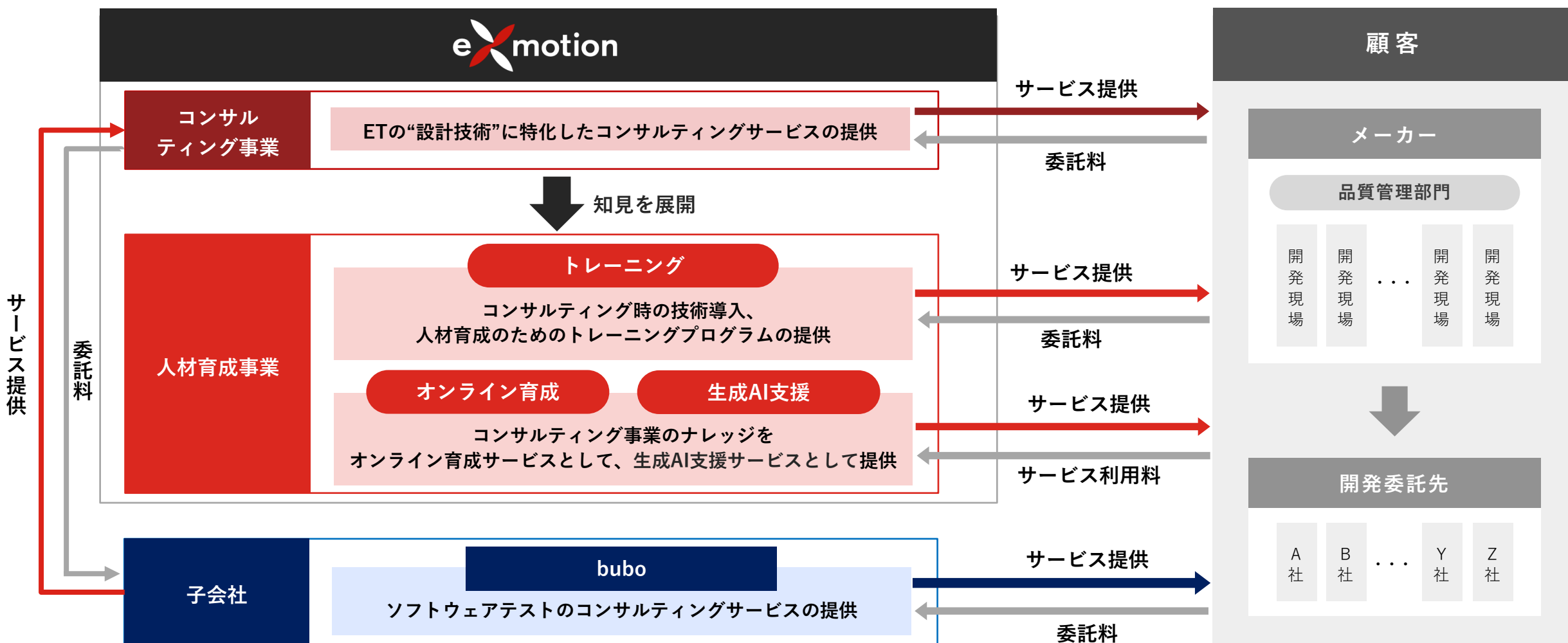
プライバシーマーク認証／JIS Q 15001
ISMS認証／ISO(JIS Q) 27001 ／ISO(JIS Q) 27017

ITがますます重要になる時代、「高品質なソフトウェア」で新しい社会の実現に貢献していきます。



組込みシステムの開発現場は、大規模・複雑化への対応に追われる中、一刻も早い変革が求められています。
当社は、組込みシステム開発の変革に取り組まれるお客様を現場から支援し、成功に導くためのプロフェッショナル集団です。
十分な実績と多くの知見をもったコンサルタントがもたらす「高品質なソフトウェア」により、効率的な組込みシステム開発への変革を成功させ、最終的に、顧客企業の開発する製品の競争力向上へとつなげます。

コンサルティング事業を主軸とし、そこで得られた知見を人材育成事業に展開することで、多様な支援を実現。子会社も加わることで、ソフトウェア開発の幅広い支援を担う



日本の産業をリードする自動車分野をはじめ、あらゆる分野で最先端のET開発の技術支援をしています

自動車分野

メーカー : トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、SUBARU、いすゞ自動車
マツダ 等
サプライヤー : ウーブン・バイ・トヨタ、デンソー、豊田自動織機、
日本精工、愛三工業、NTN、Astemo 等

対象製品

自動運転、先進安全支援、ハイブリッド、電気自動車、燃料電池、インフォテインメント 等
ADS ADAS HEV EV FCV IVI

その他分野

自動二輪 : ヤマハモーターエンジニアリング	建 機 : 小松製作所
医 療 : トプコン	住友重機械工業
オリンパスメディカルシステムズ	鉄 道 : 三菱電機ソフトウェア
産業機械 : パナソニックコネク	その他 : 電通総研、菊水電子工業
SCREENセミコンダクターソリューションズ	パーソルクロステクノロジー
農 機 : ヤンマー	オーディオテクニカ

搭載されるソフトウェアの大規模・複雑化が急加速 これまでの開発技術では対応が難しい

これからの開発に必要なのは、複雑さを解決するためのソリューション
しかし、ここはメーカーや開発委託先の不得意領域

これまでの組み込みソフトウェア



イメージ

メーカーや
開発委託先の
得意領域

単独の機能を実現する“**制御技術**”が中心

- ・ 効率性
- ・ 性能
- ・ 複雑なアルゴリズム
- ・ ハードウェアの性能を引き出す

自動運転やEVなど、これからの組み込みソフトウェア



イメージ

大規模・複雑化を解決するための“**設計技術**”が必須

- ・ 膨大な要求事項の洗い出しと整理・検証
- ・ 全体最適設計
- ・ モデルを使ったシミュレーション
- ・ 将来の追加・変更への配慮

メーカーや
開発委託先の
不得意領域

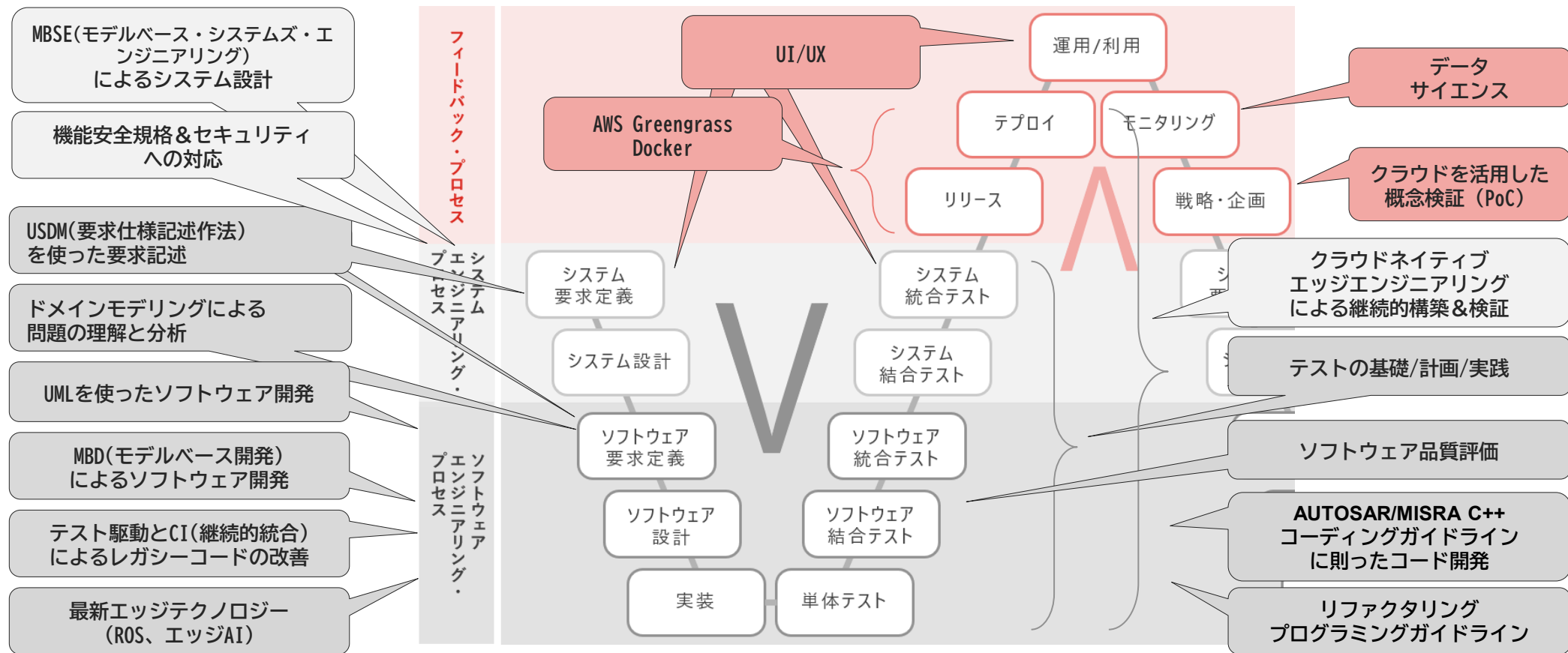
製造業DXによりビジネスモデルが変革 ソフトウェアファーストによる継続的な製品価値の向上が急務

そのためには、クラウドやOTAなどの**新たな開発技術**と、
顧客ニーズを素早くキャッチし反映する**仮説検証型の開発スタイル**が求められる

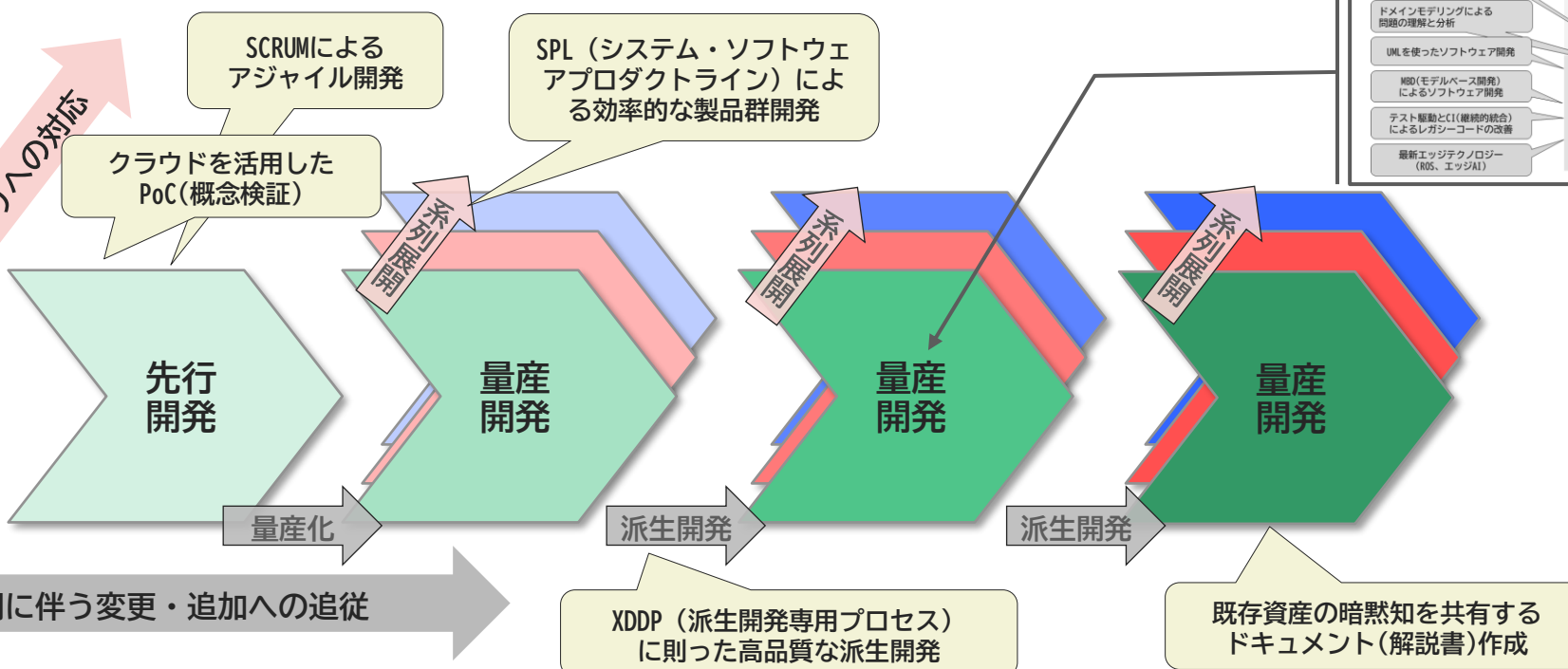
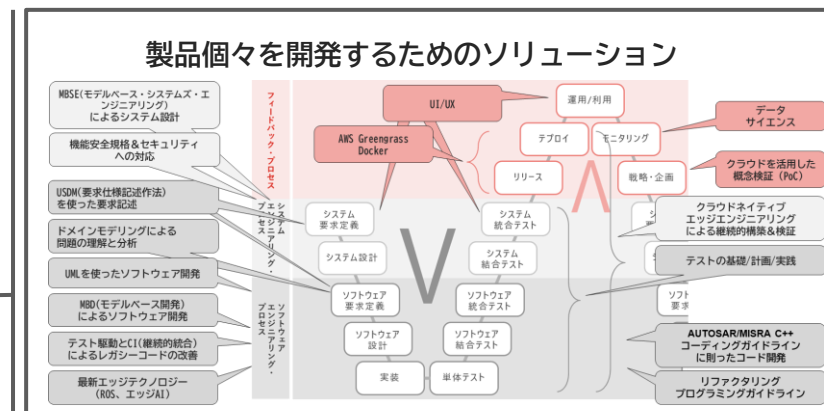


仮説検証型の開発スタイルに適応した『製品個々を開発するためのソリューション』

大規模・複雑なシステムの全体最適なアーキテクチャを構築し、それを迅速かつ正しく実現するための開発手法に加え、リリース後のフィードバックを元にアップデートを行う技術も求められます



ソフトウェアの頻繁なアップデートを可能にするためには、アップデート自体を高品質で実現するのプロセスと、それを複数の機種に効率的に適用するための技術が欠かせません



 [○](#)をクリックすると詳細がご覧になれます。一部のコンテンツは会員登録してご覧ください

ソリューション	概要	提供形態	
		コンサルティング	Eureka Box(※1)
MBSE(モデルベース・システムズ・エンジニアリング)によるシステム設計	多岐にわたる要求や制約を満足するために、モデルを活用しながら論理アーキテクチャを元に物理アーキテクチャを導出します。	○	○
機能安全規格『ISO26262』への対応 &セキュリティへの対応	機能安全規格『ISO26262』に準拠するために、安全コンセプトの策定や、成果物のトレサビリティなど、開発現場に根差した活動を行います。	○	○
USDM(要求仕様記述作法)を使った要求記述	システム開発・ソフトウェア開発の最上流工程である「要求定義」において、ヌケモレや矛盾がない要求と仕様を記述します。	○	○
ドメインモデリングによる問題の理解と分析	問題領域（ドメイン）をモデリングすることで要求を整理し、本質を理解します。	○	○
UMLを使ったソフトウェア開発	UMLのダイアグラムを使ってオブジェクト指向に則った要求～詳細設計の開発を行います。	○	○
MBD(モデルベース開発)によるソフトウェア開発	MATLAB/Simulinkによるモデルベース開発を通して、生産性と品質の両方を向上させるためのさまざまな施策やノウハウを提供します。	○	○
テスト駆動とCI(継続的統合)によるレガシーコードの改善	「チーム再生」「自動化・システム化」「コード再生」の3つを、段階的に進めることで難しいレガシーコードの改善を成功に導きます。	○	—
最新エッジテクノロジー（ROS、エッジAI）	エッジ開発に必要な、選りすぐりの最新技術を、知る/使いこなす上で必要な基礎知識から勘所までを解説します。	—	○
リファクタリング プログラミングガイドライン	C++でのプログラミング、デザイン、ソフトウェア開発におけるプロセス、ワークフロー等に対する原理、原則をまとめて提供します。	○	○
AUTOSAR/MISRA C++コーディングガイドラインに則ったコード開発	AUTOSAR Guidelines for the use of the C++14 language in critical and safety-related systems Release 19-03 及び MISRA C++:2008 - Guidelines for the use of the C++ language in critical systems について解説を行います。	○	○

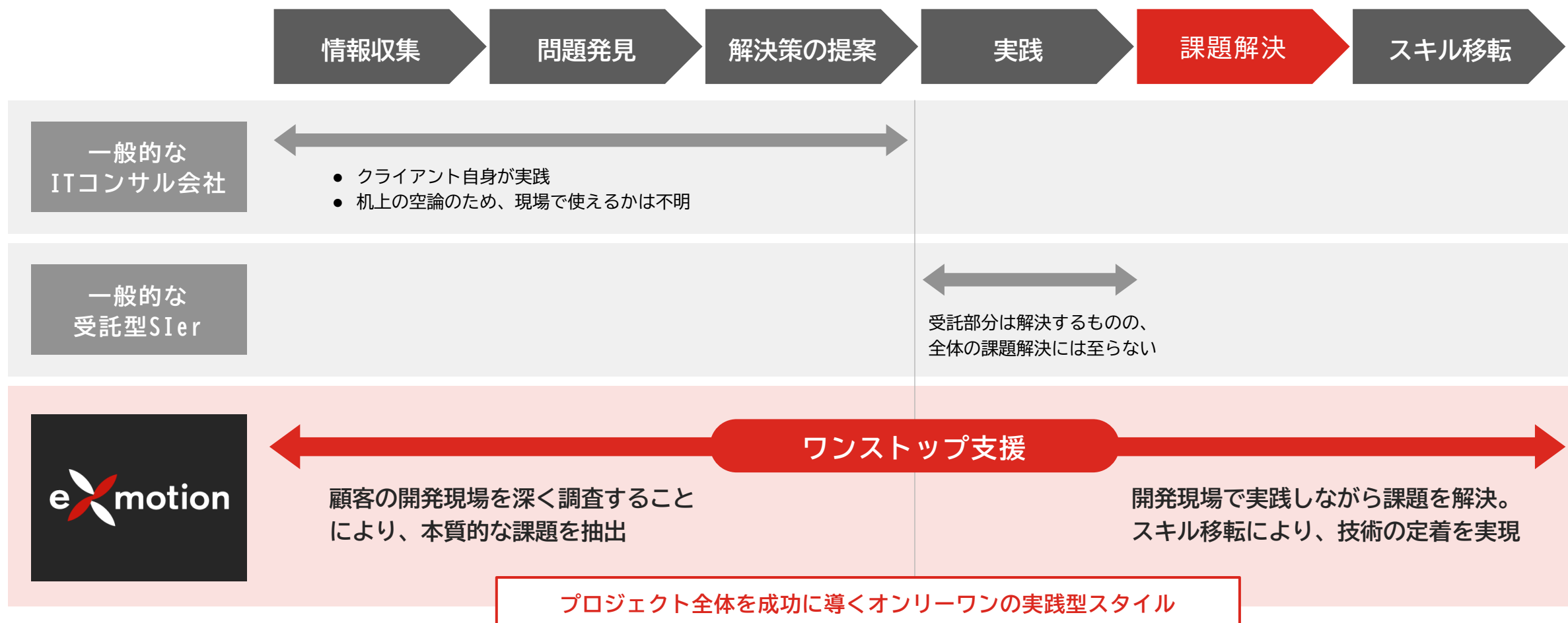
[🔗](#)をクリックすると詳細がご覧になれます。一部のコンテンツは会員登録してご覧ください

ソリューション	概要	提供形態	
		コンサルティング	Eureka Box(※1)
AWS Greengrass Docker	クラウドの環境を最小限のコストでエッジ側にデプロイ（配置）するための技術を、概要から具体的な使い方まで詳細に説明します。	—	🔗
UI/UX	「使いやすさとUXを実現するためのUI/UX」について、人間中心設計（HCD）の必要性とISO9241-210に則ったHCDプロセスの基本的な手続きを解説します。	—	🔗
データサイエンス	データリテラシーを飛躍的に向上させるためのコンテンツで、プログラミングはもちろん、データを経営に組み込むことの意義まで実践形式で提供します。	—	🔗
クラウドを活用した概念検証（PoC）	これから新たにクラウド構築に取り組もうとするエッジエンジニアや管理者を対象に、システム構築の進め方やクラウドコンピューティングで何ができるかについてを学んでいただきます。	○	🔗
クラウドネイティブ エッジエンジニアリング による継続的構築&検証	新世代エッジデバイス開発に求められる、クラウドを活用したアジャイルな開発・検証・デリバリー技術を、制御系ソフトウェア開発のコンテキストで、ハンズオン形式で提供します。		🔗
テストの基礎/計画/実践	これからテストを始める方に向けて、テストの基礎を解説します。	○	🔗
ソフトウェア品質評価	組込みソフトウェアの品質評価の手法とメトリクスの使いこなし方について、解説します。	—	🔗
SCRUMによるアジャイル開発	変化や不確実性に対応するために短期間の開発を反復するアジャイル開発を、SCRUMという最もスタンダードな開発フレームワークを通して実践します。	○	🔗
SPL（ソフトウェアプロダクトライン）による効率的な製品群開発	類似する製品を一つのグループ（製品群）として捉え、それら製品群の中で共通な部分を部品化（コード、要求仕様やテスト仕様なども含めて）し再利用することで、品質の安定と開発効率の向上を実現します。	🔗	🔗
XDDP（派生開発専用プロセス）に則った高品質な派生開発	派生開発に特化したプロセスであるXDDPにより、派生開発で発生しがちなミスやモレ、勘違いを防止し、不具合を最小限に食い止めることができます。	🔗	🔗
既存資産の暗黙知を共有するドキュメント(解説書)作成	「暗黙知」を関係者で共有するためのドキュメント（＝解説書）を作成することで派生開発における品質の安定と開発効率の向上を実現します。	🔗	—

※1 Eureka Box は、当社の提供するオンライン学習サービスです。

コンサルティング事業 サービスの特徴

ありがちな提案主体のコンサルティングではなく、課題解決までをワンストップで手掛けるET開発の
“設計技術” に特化した実践型コンサルティング

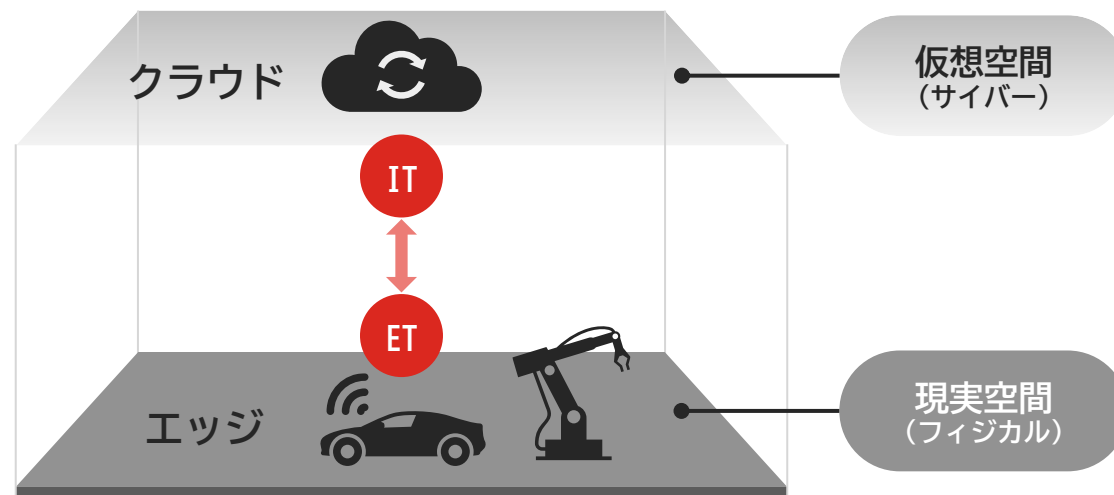


自動運転やEVの開発によって大規模・複雑化が加速しているET開発の“設計技術”が対象領域

ET (Edge Technology) とは

クラウド活用を前提としたシステムにおける、機械製品や装置等いわゆる「現場=エッジ」で使われる制御技術やデータ処理技術の総称

DXの社会実装においては、クラウドやAI等のITと同じくらい重要なテクノロジー



従来のET (Embedded Technology)

単独の機能を実現する
“制御技術”が中心

- 効率性
- 性能
- アルゴリズム
- ハードウェアの性能を引き出す



これからのET (Edge Technology)

大規模・複雑化を解決するための“設計技術”が必須

- 膨大な要求事項の洗い出しと整理・検証
- モデルを使ったシミュレーション
- 全体最適設計
- 将来の追加・変更への配慮

メーカーや開発委託先の不得意領域



タワーマンションのイメージ

私たちが支援してきたお客様から寄せられた、エクスマーションへのメッセージ

株式会社 SUBARU



白石様

SDV (Software Defined Vehicle) 領域のシステム設計において、エクスマーションさんにご支援いただき、設計の流れを丁寧に構築していただきました。既存仕様を踏まえつつ、カスタマージャーニーマップの提案や要求定義の整理、安全性分析では STAMP など新しい手法にも対応いただき、専門性の高さを実感しています。資料整備や説明も丁寧で、社内に知見が残る形で進めていただいている点也非常に助かっています。今後はプロセス改善についてもご相談したいと考えています。引き続き、幅広い知見と実行力でのご支援をお願い申し上げます。

日本精工株式会社(NSK) | 須永様、青崎様、樋口様



弊社では、システム開発プロセスの改善とXDDPによる派生開発プロセスの改善に取り組んでいます。エクスマーション様には以前から要求開発の改善として、USDМによる要求の定義と仕様化にご支援いただいております。

最近では更なる信頼性向上のため、システム全体に対し最適化した開発を行うことと、派生開発での不具合未然防止と効率向上のため、今までより領域を広げてご支援いただいております。

エクスマーション様の良いところは、現場に即した対応を高度な技術でご支援いただけることです。また、親身になって一緒に考えていただけるので、チームという感覚で開発を進めることができます。例えば、メカという馴染みが少ない開発に対しても、弊社から提供した情報を理解し、整理し、適切な提案をしていただけるので、計画的に効率よく開発を進めることができます。

株式会社オーディオテクニカ | 青木様、実方様



要求仕様書の品質向上という課題に対し、エクスマーション様のコンサルティングのご支援は私たちに大きな気づきと変革をもたらしました。USDМの考え方を体系的に学び、実務に落とし込むことで、開発現場における認識のズレや手戻りを減らし、効率と精度の両面で大きな成果を実感しています。特に CoBrain の導入により、仕様の可視化と共有がスムーズになり、チーム全体の理解度が向上しました。技術者の視点を深め、より良い製品づくりに貢献する仕組みを提供いただいたことに、心より感謝申し上げます。今後もさらなる品質向上に向けて、共に歩んでいけることを楽しみにしております。

株式会社小松製作所 | 齋藤様



弊社では制御ソフト開発において要求仕様書を重要な基点（成果物）と考えています。よりよい開発へと継続的に改善を行うためには、課題や工数（変更工数、やり直し工数など）を適正に測定する仕組みが必要であり、また、開発初期においても適正かつ迅速な工数見積が期待されています。仕様の粒度が区々であると仕様の件数（変更や追加など）から工数見積が経験的にしか判断できないという課題もありました。さらに、最近では要求管理、特にトレーサビリティを把握するのに有効なツールがあり、要求と仕様間関係、要求間関係、仕様間関係を把握しやすくなってきてはいますが、ツールに入れる要求や仕様の内容や粒度の規定はツールによってなされていないため、それらを運用する手法が重要であると考えています。これらの解決手法の1つとして弊社では USDМ を検討しており、エクスマーション様の支援によって改善中であり、これからも局所的な課題解決ではなく全体最適を見通したご支援を期待しております。

ヤンマーホールディングス株式会社 | 松本様



農業の ICT・ロボティクス化に伴い、農業機械にも自動車と同等以上に複雑かつ大規模な制御ソフトウェアを実装する流れになっています。このソフトウェア開発を効率的に行うため、エクスマーション様には、モデルベース開発プロセスの整備コンサルティングを依頼させていただきました。

しかし実際は、単なるコンサルティングに留まらず、開発実務と一緒にやって頂く事で、豊富な実践経験に基づく知見や手順を、我々のスタイルに適した形で伝授頂く事ができました。

また、一緒に業務経験させて頂いた若手は、MBD開発者として必要なスキルを理解し、目標とする技術者の具体的なイメージを得ており、育成面からも大きな収穫を得たと感じています。

今後も制御開発の更なる飛躍のために、様々な面でご支援を頂きたいと考えています。

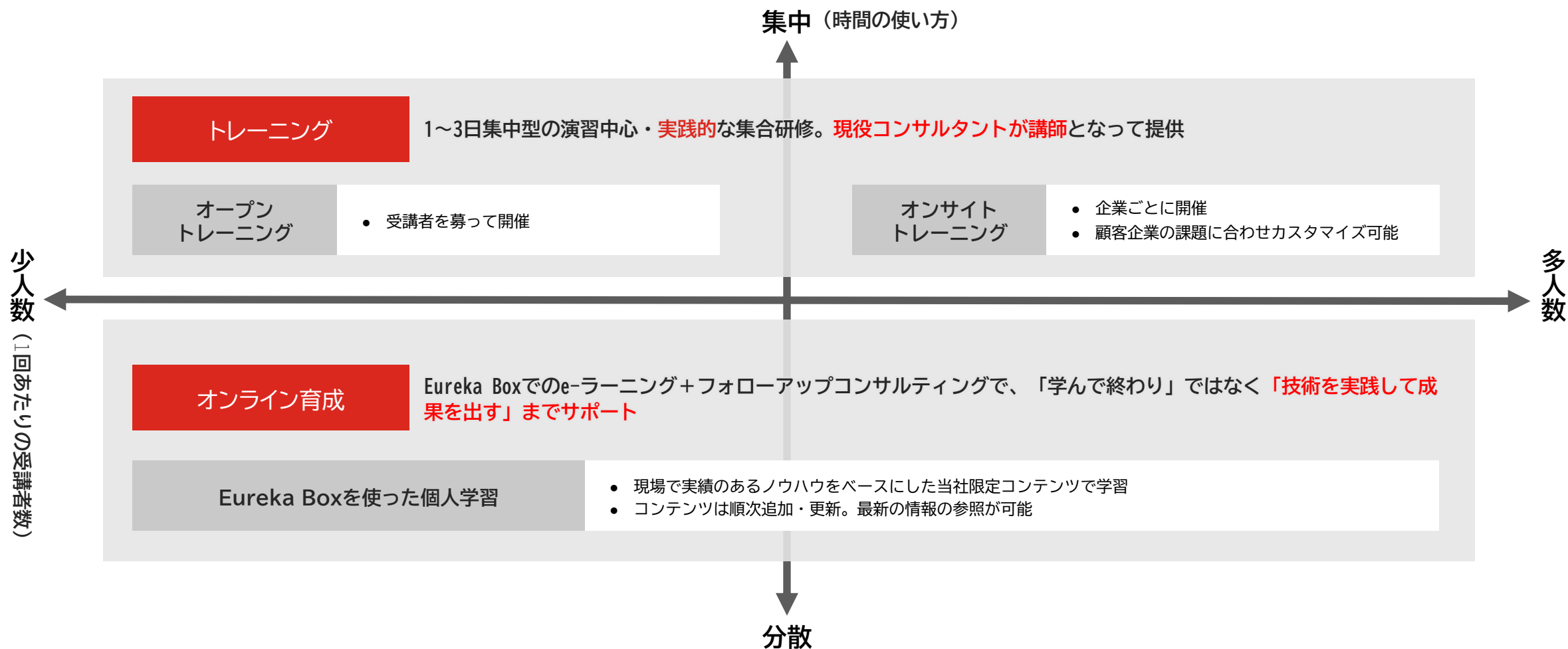
パーソルクロステクノロジー株式会社 | 田原様、神保様



エクスマーションの皆様には、ADAS 仮想プロジェクトという PBL 型の人材育成プロジェクトにおいて、立ち上げから実運用まで伴走いただき、深く感謝しております。育成と業界知識の“二刀流”を兼ね備えた稀有な存在として、当社の曖昧な期待を的確に言語化し、実践的なコンテンツへと落とし込んでいただきました。講師陣の皆さまはメンバー一人ひとりに寄り添い、継続的に成長を促す支援のほか、効果測定やアンケートなどの仕組みづくりにも貢献いただきました。双方向の対話を重ね、その都度調整を加えながら進化していく支援スタイルは、まさに“プロジェクト型育成”の理想形です。今後も技術潮流を見据えたご提案と、未来と共に描く関係構築をお願いしたいと考えております。

人材育成事業 サービス概要

ET開発の人材育成（内製化に不可欠なリスクリング）における課題を実践的なプログラムの提供により解決。
トレーニングとオンライン育成の2つの形態で顧客のニーズに応える



トレーニングの特徴

- ✓ 現場支援で利用している実践的な技術をコンサルタントから直接学べる
- ✓ まとまった人数を一気に短期間で教育できるので組織的な技術導入に最適
- ✓ 受講者が技術の本質を理解しやすいように演習問題を工夫

トレーニング名	日数
要求仕様を定義（USDM）入門/実践/オーダーメイドトレーニング	1～3日
システムアーキテクチャ設計実践トレーニング	2日
モデルベース開発（MBD）設計実践トレーニング	2～3日
派生開発プロセスXDDP入門/実践/オーダーメイドトレーニング	1～2日
SPL（システム/ソフトウェアプロダクトライン）入門トレーニング	1日
オブジェクト指向分析モデル（モデリキ基礎・応用）トレーニング	1～2日
テスト駆動によるリファクタリング実践トレーニング	1日

各トレーニングの内容はこちらをご覧ください 

システム/ソフトウェア開発技術の コンサルティング付きeラーニングサービス Eureka Boxは「学習」から「実践」までをサポート

Eureka Box（ユーリカ ボックス）は、上流工程を中心としたソフトウェア開発技術が学べ、AI・コンサルタントが実践までをサポートするシステムです。

サービスの特徴

- ✓ すべてオンラインで完結
- ✓ AIによる学習・演習支援
- ✓ コンサルタントによる実践支援
（個社ごとのチャット・相談会）



Eureka Boxの最新情報はこちらをご覧ください



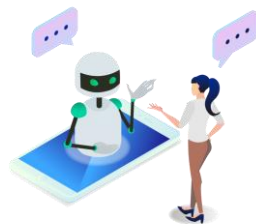
「学習」から「実践」までのお悩みをすべて解決！

スキマ時間を活用できる 『Eureka Boxコンテンツ』



掲載コンテンツは、原則5分程度の短い動画やテキスト形式で構成。
まとまった時間はなくても、スキマ時間を活用して、自分のペースで学習できます。

『開発ナビAI』 を使いながら学習・演習



Eureka Box上で、いつでも質問できるAIチャットボット『開発ナビAI』。
要約回答と参照すべきコンテンツを示してくれるので、学習も実践も行き詰まりなくスムーズです。



自身で学習

深い相談は 『開発よろず相談会』で



「自分たちの開発に合う形にカスタマイズしたい」「次の学習はどの技術が良いか」などの深い話は、定期開催の『開発よろず相談会』でコンサルタントにじっくり相談。

不明点は『開発よろず相談チャット』 で随時質問



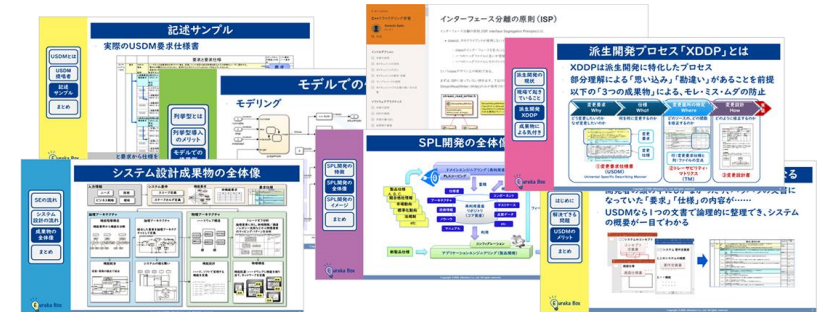
実際の開発では様々な壁にぶつかるもの。そんなときは、Teams上で貴社だけが利用できる『開発よろず相談チャット』で、コンサルタントに質問&自社メンバーに共有して、壁を乗り越えましょう。



現場で実践

システム/ソフトウェア開発のプロによるコンテンツ

USD 学習 要件定義／要求分析の 手法を一から学ぼう	要求記述 (USD)	MBD 学習 Simulink による モデルベース開発を学ぼう	モデルベース開発 (MBD)
SPL 学習 製品群開発を効率化する 開発手法を学ぼう	プロダクトライン 開発 (SPL)	C++ 学習 C++リファクタリング コーディングの基礎から 開発プロセスまで広く学ぼう	プログラミング ガイドライン
XDDP 学習 変更開発／派生開発の 手法を一から学ぼう	派生開発 (XDDP)	システムズエンジニアリング 学習 要件からアーキテクチャまで システム設計の手法を学ぼう	システムズ エンジニアリング
トレンド技術 最新技術 知っておきたい最新技術の 基礎から勘所まで解説	最新技術 [生成AI, CloudNative CI/CDなど]	エキスパート ソフトウェア 品質評価 組込みソフトウェアの 品質評価とメトリクス	エキスパート [業界エキスパート 提供コンテンツ]



- ・ 100社以上のシステム/ソフトウェア開発の現場を知り尽くす当社コンサルタントが作成した、合計1,500個を超える豊富なコンテンツ。
- ・ 学習系・演習系・リファレンス系・ツール系の4系統のコンテンツで、学習から実践までカバー。
- ・ 管理者向けの「学習進捗レポート」※や、スキル習得&可視化機能「EBSS」も提供。

※ 学習進捗レポートは、1契約あたり1レポートのご提供となります。複数レポートのご希望などはお相談ください。

学習から実践まで寄りそうAIサポーター『開発ナビAI』



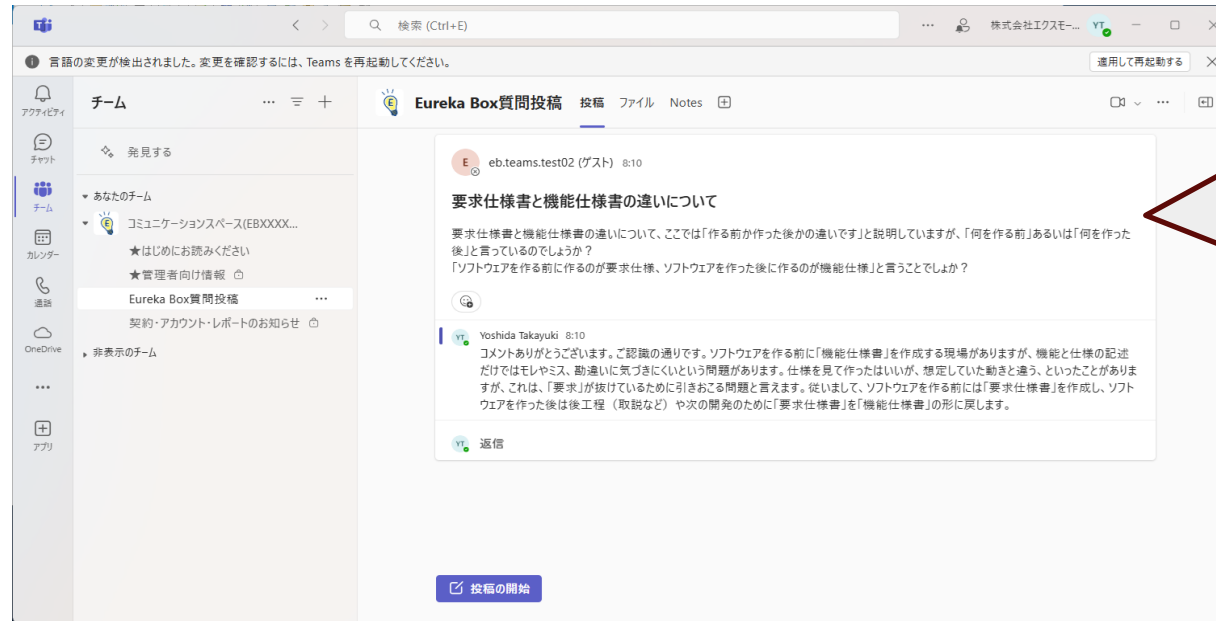
ボタンをクリック



- Eureka Boxコンテンツに基づいた要約と、参考コンテンツページをAIが回答。
- 「学習時は分かったと思ったけど、いざやろうとすると分からない」「どこかのコンテンツで見た気がするけど、どこだったか思い出せない」などのお悩みを、いつでも『開発ナビAI』がすぐに解決。

※ 開発ナビAIはUSDM, MBDを先行提供中です。他技術用は今後リリース予定です。

貴社だけの相談スペース『開発よろず相談チャット』



- ・ Teamsに設けられたコミュニケーションスペースで、システム/ソフトウェア開発のプロである、
当社コンサルタントに直接質問や相談が可能※。
- ・ 個社向け、貴社受講者と当社間でのみ共有しているスペースのため、貴社の業務環境や学習状況を
前提としたご質問やご相談、類似した他社様事例のご紹介なども可能※。

※ チャットは、1契約あたり1チャンネル・当社提供チャンネルのご提供（当社側からの招待利用）となります。
※ 担当コンサルタントの業務都合上、回答までに最長2営業日程度掛かる場合がございます。
※ 貴社社外秘情報などNDA締結が必要なレベルのご相談・ご支援は、別途コンサルティングサービスにて承ります。



- オンラインで、システム/ソフトウェア開発のプロである当社コンサルタントに直接質問や相談が可能。
- 個社向け、定期開催が前提のため、「学んだ開発技術を自社の開発に合う形にカスタマイズしたい」「次に学習するのはどの技術が良いか」など、貴社の業務環境や学習状況が前提のご質問やご相談、類似した他社様事例のご紹介なども可能※。

※ 貴社社外秘情報などNDA締結が必要なレベルのご相談・ご支援は、別途コンサルティングサービスにて承ります。

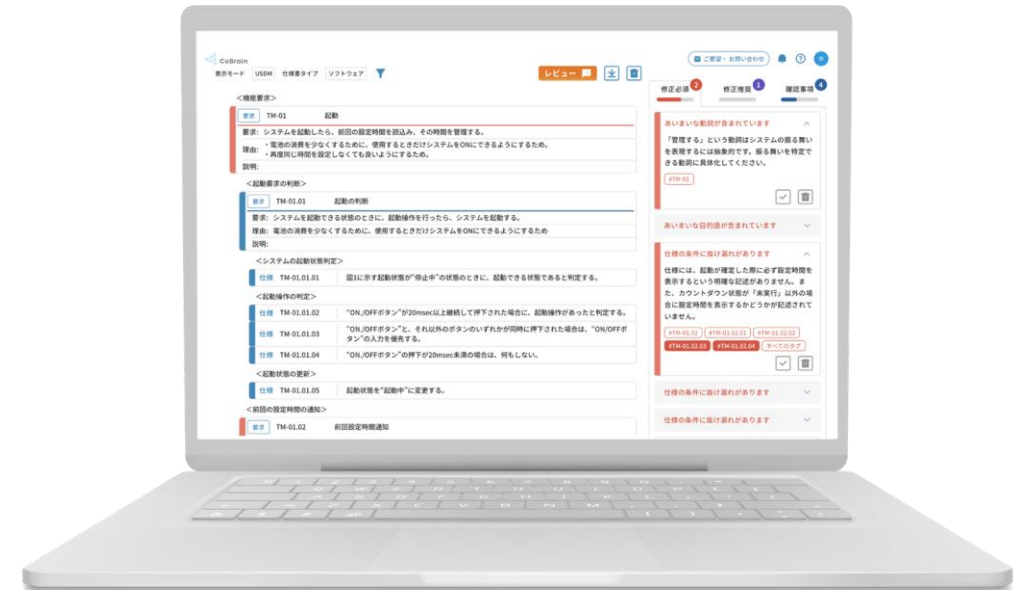


要件定義の効率化と品質向上をAIが実現 レビュー & 要件書作成により要件定義を効率化

CoBrain（コブレイン）は、コンサルタントの知見をもとに開発されたサービスです
高性能な要件定義書のレビューと要件書作成により要件定義プロセスを劇的に効率化します

サービスの特徴

- ✓ 要件文書特有の問題をAIが瞬時に指摘
- ✓ 作成者だけで要件文書の品質を向上
- ✓ 要件書作成にかかる時間を最大で97%削減できます（当社内検証結果）



レビュー



文書の問題点をAIが瞬時に指摘

要件定義書・要求仕様書の全体をAIで一括レビューします。要件の「ヌケモレ」「あいまい」などを一括チェックします。

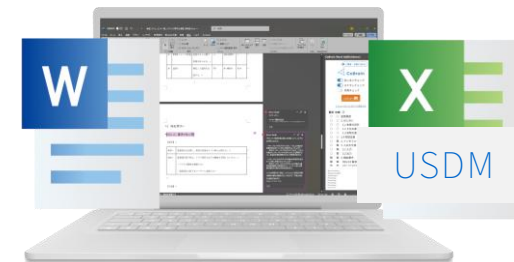
要件書作成



AIエージェントが要件化を支援

要求分析から要件書作成まで一連の流れを専用AIが強力にサポート。要件定義を劇的に効率化し、創造的な作業へと深化させます。

複数フォーマット対応



環境に合わせてツールが選べる

USDM形式に対応したWebアプリ版とWord形式の文書に対応したWordアドイン版を提供します。お客様の環境に合わせて手軽にご利用いただけます。

厳選された観点で 文書の品質向上を実現

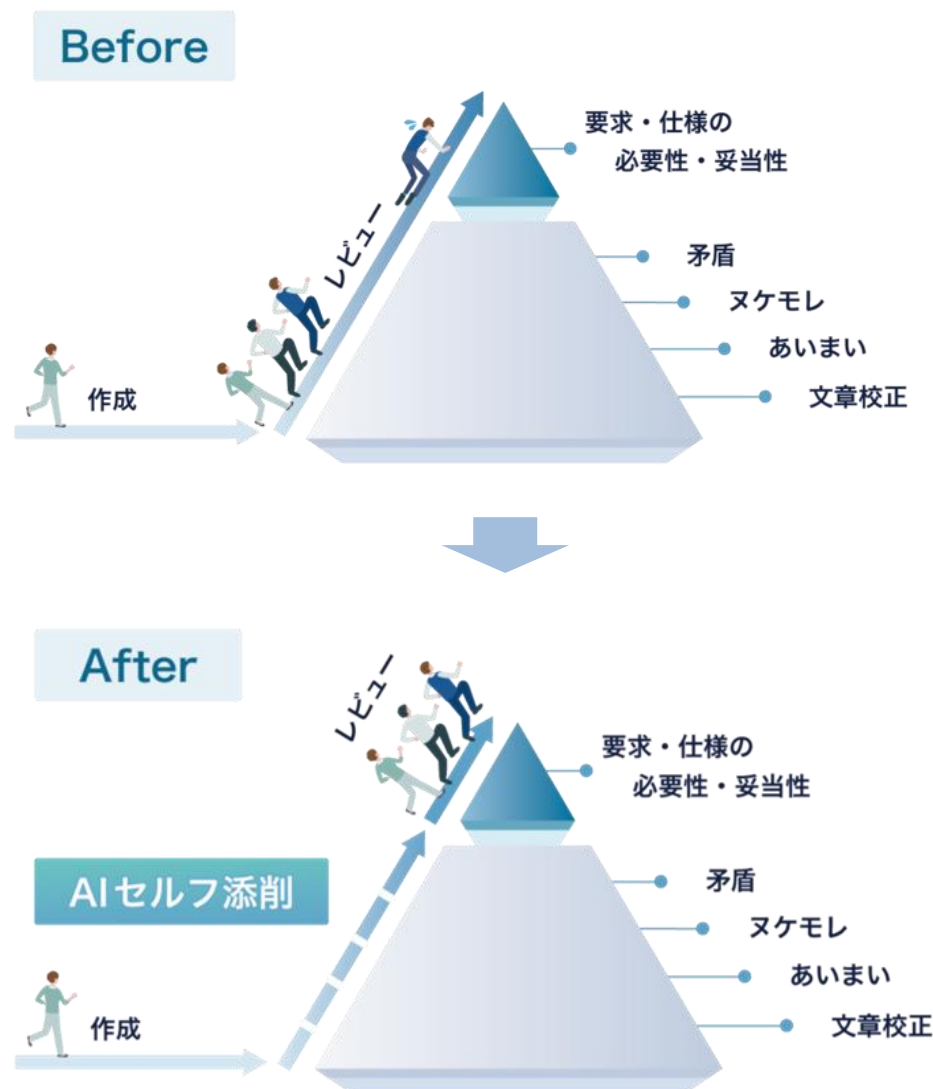
エクスモーションのコンサルティングナレッジを活用し、現場で求められるレビューの観点を反映。問題の早期発見から、新たなアイデアの提案まで、これまでにない要件定義の体験を提供します。文書作成時に下流工程で見ついていた問題の発見することで、想定外のコスト増大を抑制します。また、記述が明確になることで暗黙知に依存した仕様を減らし、持続的な開発を実現します。

レビュー観点（一部抜粋）	説明
あいまいさ検出	要求と仕様のあいまいな記述を見つける観点です。これにより、要求や仕様の言語化・明確化を促します。
抜け漏れ検出	要求と仕様の抜け漏れを見つける観点です。これにより、要求や仕様の網羅性を確保します。
矛盾検出	矛盾している要求の記述を見つける観点です。これにより、要求の整合性を確保します。
文章校正	要求と仕様の文章校正を行う観点です。これにより、文章の読みやすさや用語の検索性を向上させます。
要求や仕様の気付き	要求や仕様の考慮漏れが考えられる項目を見つける観点です。これにより、要求や仕様の考慮漏れを防ぎます。

AI添削でヒトがみるべき 観点到に集中できる

作成者がCoBrainでセルフ添削を行うことで、チーム全体のレビュープロセスが大幅に効率化されます。

複数のエンジニアが作成した要件定義書も、AIによる一貫した基準でのチェックを通すことで、ドキュメント品質が均一化されます。これにより、レビュアーは要求・仕様の妥当性に着目したレビューをすることができます。



要件書作成エージェント機能「Studio(スタジオ)」

- 要求分析支援: 関連文書からユースケースやドメインモデルの作成が可能です。
- 要件書の作成: 上記の要求分析結果や、システム企画文書や機能仕様書、制御仕様書などから要求仕様作成ができます。



The screenshot displays the Studio interface for creating a Domain Model. The left sidebar contains navigation options: スタジオ, スマートキーシステム, スタジオ一覧に戻る, 参照文書アップロードに戻る, アウトライン, システム境界とアクター, ドメインモデル, ユースケース, 要求仕様(USDM形式), 管理画面, ヘルプ, and ご要望・お問い合わせ. The main area shows the 'Domain Model' section with a summary of the model's purpose and components. The 'Class Diagram' section displays a UML diagram. The right sidebar shows the 'Agent' section with a confirmation message: 'ドメインモデルを作成してください。' and 'ドメインモデルの作成完了'. Below this, it states: 'ドメインモデルの成果物が作成されました。内容は成果物ビューでご確認いただけます。' and '次の作業をご希望の場合はご指示ください。ドメインモデルの成果物が作成されました。成果物ビューで内容をご確認いただけます。' The bottom right section lists reference documents: 250930_議事メモ.txt and スマートキーシステム企画書.docx, with a button to add more documents. A message input field is at the bottom right.

CoBrain

スタジオ > スマートキーシステム

◎ 成果物ビュー プレビュー 生テキスト v1 ...

ドメインモデル 未保存

ドメインモデルの要約

- 主題: スマートキーシステム
- 目的: ドライバーがキー操作をせずに安全かつ確実に車両のドアを施錠・解錠し、スムーズな乗車・降車を支援すること
- 構成要素:
 - もの: 電子キー, 車両, ドア (各席ドア), 車外アンテナ, 車内アンテナ, ドアハンドル, ドアモーター, 非常点滅灯, 室外ブザー, 正規キー情報, シフトポジション, エンジン状態
 - イベント: 解錠操作, 施錠操作, 電子キー検知, ドア施錠完了通知, ドア解錠完了通知, 誤解錠判定, ドア施錠ミス判定
 - 外部エンティティ: 正規ディーラー
 - 役割: ドライバー, システム管理者
 - 場所: 車内, 車外 (車両近傍)

クラス図

エージェント

次の作業をご希望の場合はご指示ください。

ドメインモデルを作成してください。

✓ ドメインモデルの作成完了

ドメインモデルの成果物が作成されました。内容は成果物ビューでご確認いただけます。

次の作業をご希望の場合はご指示ください。ドメインモデルの成果物が作成されました。成果物ビューで内容をご確認いただけます。

次の作業をご希望の場合はご指示ください。

参照文書:

- 250930_議事メモ.txt
- スマートキーシステム企画書.docx

◎ 参照文書を追加 + 他の参照文書をアップロード

メッセージを入力...

要件書作成にかかる時間を最大で 97% 削減できます ※



The screenshot displays the CoBrain software interface, which is used for requirement analysis. The interface is divided into several sections:

- Left Sidebar:** Contains navigation links for 'スタジオ' (Studio), 'スマートキーシステム' (Smart Key System), 'スタジオ一覧に戻る' (Return to Studio List), '参照文書アップロードに戻る' (Return to Reference Document Upload), 'アウトライン' (Outline), 'システム境界とアクター' (System Boundary and Actor), 'ドメインモデル' (Domain Model), 'ユースケース' (Use Case), '要求仕様(USDM形式)' (Requirement Specification (USDM Format)), '管理画面' (Management Screen), 'ヘルプ' (Help), and 'ご要望・お問い合わせ' (Inquiries).
- Top Bar:** Shows the current project 'スタジオ > スマートキーシステム' and a 'エージェント' (Agent) section with a 2% progress indicator.
- Main Content Area:** Displays the '成果物ビュー' (Result View) for 'USDM'. It shows a hierarchy of requirements: '上位要求: RQ-01 - ドア解錠操作' (Superior Requirement: RQ-01 - Door Unlock Operation) and '下位要求: RQ-01.01 - 電子キー照合' (Subordinate Requirement: RQ-01.01 - Electronic Key Authentication). Each requirement includes a '本文' (Main Text), '理由' (Reason), and '説明' (Description). The '下位要求: RQ-01.02 - 解錠制御' (Subordinate Requirement: RQ-01.02 - Unlock Control) is also visible.
- Right Panel:** Contains a '要求仕様の作成には、対象となるユースケースIDが必要です。' (To create the requirement specification, the target Use Case ID is required.) message. Below this, there is a 'UC-01から04までの要求仕様を作成して' (Create requirement specification from UC-01 to 04) button. A status bar shows '✓ 要求の作成完了' (Requirement creation completed) and '○ 要求の作成中' (Requirement creation in progress). At the bottom, there is a '参照文書' (Reference Document) section with a list of documents: '250930_議事メモ.txt' and 'スマートキーシステム企画書.docx'. A button '参照文書を追加' (Add reference document) and a link '+ 他の参照文書をアップロード' (Upload other reference documents) are also present.

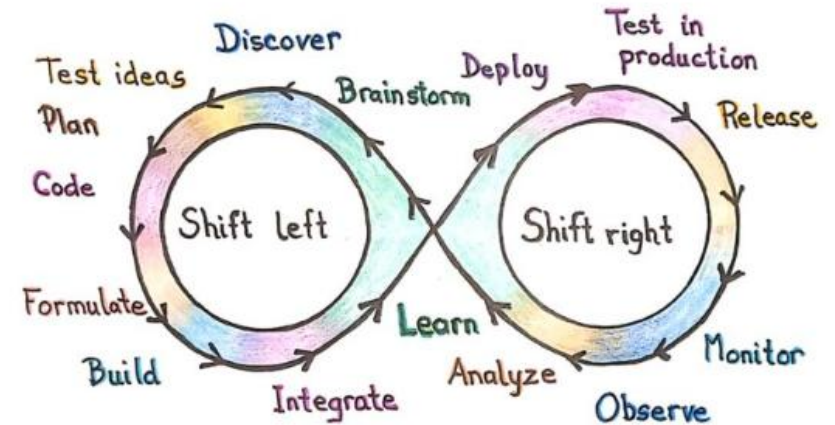
※当社内検証結果

buboは、アジャイル開発プロジェクトに対して総合的なテスト活動の支援とソフトウェアテストのコンサルティング業務を提供しています。

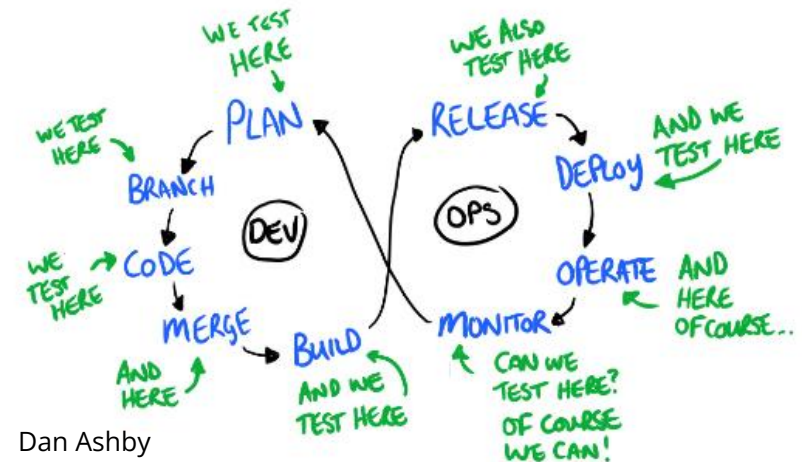
社名 株式会社bubo
業務 アジャイルQAのコンサルティング
URL www.bubo.inc



「新しい」モノを、「良い」モノに。



Janet Gregory
Testing And Coding, Not Coding "Then" Testing



Dan Ashby
Continuous Testing in DevOps...

ソリューション	概要
迅速なアジャイル開発を実現するスクラムテスト	アジャイル開発で迅速かつ高品質なソフトウェアを提供するために、スクラムテストを提案します。このアプローチは、開発とテストの密接な連携を通じて、不具合の早期発見と迅速な修正を可能にします。具体的には、アジャイルテストの四象限を活用し、ビジネスと技術の両面から計画的にテストを実施します。さらに、チーム内に品質文化を醸成し、継続的なフィードバックを通じて開発速度と品質を最大化します。このソリューションにより、開発とテストの分離を解消し、効率的なフィードバックループを形成することで、迅速なアジャイル開発を実現します。
変化に強いチームを育むプロジェクトランゲージ	多くのプロジェクトでは、ナレッジの属人化や振り返りの形骸化が原因で、同じ課題が繰り返されることがあります。本ソリューションでは、パターン・ランゲージを活用し、自己組織的かつ生成的に学びを共有することで、継続的な改善が自然に進む仕組みを構築します。これにより、チームや組織がいきいきとし、ユーザーに響く価値を素早く継続して提供できるようになります。
データ駆動型意思決定による継続的品質改善	多くのプロジェクトでは、課題が埋もれてしまったり、適切な対応が遅れることで品質や進捗に悪影響を与えることがあります。本ソリューションでは、品質課題の可視化や課題の妥当性確認を通じて、課題の早期発見と適切な改善施策を可能にします。これにより、情報の収集不足や知識不足といった課題の根本原因に対処し、プロジェクト全体の改善を実現します。
アジャイル開発プロセスに品質を組み込む	アジャイル開発を導入している企業のなかには、サイロ化した組織が原因でソフトウェアの品質、コスト、納期に関する問題が生じていることがあります。QA to AQを導入することで、そのような問題を効率的かつ効果的に解決することができます。

最後までご覧いただき、ありがとうございました

本件へのお問合せはこちらまで

Form : <https://www.exmotion.co.jp/contact.html>

mail : sales@exmotion.co.jp

株式会社エクスモーション

<https://www.corporate.exmotion.co.jp/>

<https://www.exmotion.co.jp/>

システム/ソフトウェア開発技術オンライン学習サービス Eureka Box

<https://www.eureka-box.com/>

生成AI要件定義支援サービス CoBrain

<https://cobrain.jp/>